

宮崎市民プラザにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

【 オルブライトホール主催者用 】

令和2年6月19日策定
令和2年12月1日改定
令和3年12月1日改定

基本的な感染防止策

- 正しいマスクの常時着用
※マスク使用時は鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用すること。
- 手指の消毒や手洗いの徹底
- 大声を出さないこと、咳エチケットの徹底
- 相互の社会的距離の確保
- 常時換気の励行
- 厚生労働省の接触確認アプリCOCOAのダウンロードや宮崎市コロナ通知システムの登録(QRコード読み取り等の推奨)
- 検温を励行し、平熱と比べて高い発熱がある場合や下記の症状等に該当する場合には自宅待機等の対応をとる。
 - ①咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状
 - ②PCR等の検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ③過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴や当該在住者との濃厚接触がある場合等

事前調整における感染防止策

- 仕込み・リハーサル・撤去において、余裕あるスケジュールを設定してください。
- 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設定してください。
- 来場者が多数になることが見込まれる公演については、宮崎県・宮崎市において示された対応指針等に基づいて、実施の可否及び実施する際の必要となる感染予防策について対応を検討してください。
- 公演後の出待ちや面会等、公演関係者(出演者など)と来場者の接触は控えるよう周知してください。併せて、出演者へのプレゼントや差し入れ等を控えることも周知してください。
- 来場者の配席については、できるだけ指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
- 配慮が求められる来場者、障害者や高齢者、ワクチン未接種年齢層等については事前に対応策を検討してください。また、ワクチン未接種年齢層や高齢者、持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- 来場者等から体調不良が訴えられた際の対応について、事前に検討を行い、換気の良い救護室(一時的隔離)や対応する際の不織布マスク、手袋等の備品を準備してください。

会場内等における感染防止策

- 主催者は、会場内の不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒を徹底するとともに、会場の出入口等の必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置し、入退場時の利用を周知してください。なお、消毒液に不足が生じないように定期的な点検を行ってください。
- 楽屋、控室等の不特定多数が触れやすい場所も定期的な消毒を徹底し、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。
- 楽屋、控室等は密にならないように定員を調整するとともに常時換気を励行ください。なお、必要に応じて、二酸化炭素モニターの使用(換気の目安として濃度1000ppm以下)も有効です。
- ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、感染防止対策を十分に講じてください。
- 舞台袖、舞台裏、楽屋などの狭いスペースでの待機時や喫煙スペース、洗面スペースなどマスクを外しての利用に際し、各場所に応じた定員制限や会話の抑制等を徹底してください。
- 入場時のチケットもぎりについては、入口の滞留状況等を想定し、簡略化(来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認)するか、係員のこまめな手指消毒(もしくは手袋着用)の徹底かを検討してください。
- チラシ・パンフレット・アンケート等は、据え置きとし来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には係員の手指消毒(もしくは手袋着用)を徹底してください。
- 客席の最前列席は、舞台上の発声等を伴う出演者から十分な距離を取ることとし、最低でも水平距離で2m以上を設けてください。
※演者が発声しない公演等(演者が、激しい呼吸を伴う運動や管楽器の演奏を行う等、飛沫感染のリスクが考えられるような公演については除く)については、舞台前からの距離を取る必要はありません。
- 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定(来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限)してください。
- 感染リスクが高まるような演出(声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等)は控えてください。また、大声を出すものがいた場合は、個別に注意等を行い、従わない場合は退場を求める等の措置も検討してください。

- 入退場時の密集回避のため、時間差を設けての入退場や入退場導線の分散、案内人員の配置、メッセージボード等を使用した呼びかけにより、十分な距離・間隔(最低1m)を確保してください。
- 来場者と接する窓口(会場入口、当日券販売、物販コーナー)等では、換気に注意をしようえで、アクリル板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置し、来場者等との間を遮蔽してください。
- 会場内では、ワクチン接種の有無に関わらずマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布・販売等や、個別に注意等を行うことで着用を徹底してください。特段の理由なく、マスク着用の指示に従わない場合は、入場を拒む等の対応を検討してください。
- 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ホワイエ・ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。
- 休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては、密集が発生しないよう券種やゾーンごとの時間差で滞留を抑制してください。
- 休憩時間のトイレでは、ホワイエ・ロビー等の広さを踏まえて、十分な間隔(最低1m)を空けた整列を促してください。

出演者及びスタッフ等に関する感染防止策

- 公演主催者及び公演関係者(出演者など)は、その表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。
- 公演時の出演者を除き、施設内ではマスクの常時着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- 来場者の案内や誘導に際しては、十分な距離(最低1m)を取るとともに、不織布マスクを着用してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。また、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるとともに、関係者の健康管理に努めてください。

来場者に関する感染防止策

- 来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケースを事前に十分周知し、その際の振替やチケット代金の払戻等の諸条件については、発売時に告知してください。
- 来場者側の自己検温だけでなく、主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。

物販等に関する感染防止策

- 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインでの販売やキャッシュレス決済を検討してください。
- 物販に関わる関係者は、不織布マスクの着用に加え、必要に応じてこまめな手指消毒(手袋着用)を行ってください。
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- オペラグラス等の貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は、貸し出しを行わない。

感染拡大への防止策

- 主催者は、出演者及びスタッフ等の関係者、来場者について、可能な範囲で氏名及び緊急連絡先を把握し、作成した名簿を一定期間(概ね1ヶ月間)保持するように努めてください。また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄してください。
- 発生した感染者等(含む同居者等)の情報は要配慮個人情報となるため、その取り扱いに十分注意してください。
- 感染が疑われる者がいた場合は、速やかに市民プラザへ連絡し、対応を協議してください。
- スタッフや公演関係者の感染が疑われる際の対応について、事前に検討を行い、自宅待機や受診等の基準を定めてください。基本は、発熱など軽度の体調不良の場合には抗原簡易キットでの検査を促し、検査陽性の場合には保健所の上で、PCR検査等を速やかに実施してください。さらに、濃厚接触の可能性のある者にも検査を促してください。

収容定員について【 イベント開催制限 】

- イベント開催時の収容率は、原則として必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、国や宮崎県・宮崎市の対応方針に従ってください。

本ガイドラインは、政府及び専門家の助言を踏まえ、全国公立文化施設協会が策定し、市民プラザにおけるガイドラインとして定めたものです。そのため、本ガイドラインの内容は、今後の感染の動向のほか、国の対応方針の変更や専門家の知見等により、必要に応じて適宜改訂を行うものいたします。皆様のご協力をお願いいたします。